

やさおの水道について知ろう!

第3回 水道に関する施設について(配水編)

前回は、利根川水系ダムからきた水と市内の井戸水を飲めるようにする浄水施設について学びました。

今回は、水道水を家庭や事業所に送るための施設について学んでいきましょう。

水道水はどうやって送られてくるの?

水道水は市内の中央浄水場から、道路に埋められている配水管という管を通して家庭などに送られています。この管の総延長は、約414キロメートルで、東京から大阪までの直線距離と同じくらいの長さです。

そんなに管があると管理が大変そう。全国的に老朽化が進んでいるって聞いたけど、八潮市は大丈夫なのかな?

八潮市でも管の老朽化は進んでいます。老朽化や震災などで管が壊れると、せっかく飲めるようにした水が漏れ出し、無駄になってしまいます。そのため、水道部では毎年区域を決めて漏水調査をして、早期に修繕をしたり、老朽化した管を地震に強い管に入れ替える工事を行ったりしています。もし道路から水があふれているのを見つけたら、水道部に連絡してくださいね。



口径600mmの大口径の管を布設している様子

管を適切に管理していくのは大変なんだね。これからもみんなが安心して水が飲めるように頑張ってください!

【お問い合わせ】施設課設計工事担当